

## 包括的な学校改善の推進に向けた校長のマネジメント

中核校	旭川市立大有小学校	指定校	旭川市立北門中学校、旭川市立近文小学校 旭川市立北光小学校
-----	-----------	-----	----------------------------------

### 実践前の状況

- ・組織としてスピード感をもって迅速に対応するためには、これまでの校務分掌では十分な効果を生むことが難しい。
- ・特に、学校課題の解決が複数の部や係に関連したり、教職員の年齢層に偏りがあつたりすると、機能が果たせない状況がある。

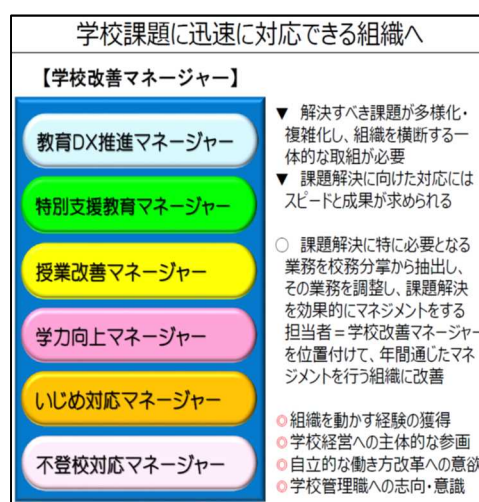
### 実践の概要

学校課題の解決に迅速に対応できる学校組織への改革

- ・課題解決に特に必要となる業務を校務分掌から抽出し、その業務を調整し、課題解決を効果的にマネジメントする「担当者（学校改善マネージャー）」を位置付けて、年間を通じたマネジメントを行う組織に改善した。

学校課題の解決に特化したマネジメント

- ・令和5年度は、「教育DX推進」「特別支援教育」「授業改善」「学力向上」「いじめ対応」「不登校対応」の6つの学校課題に対応する学校改善マネージャーをそれぞれ任命した。学校改善マネージャーが学校課題の解決に向けた戦略を立案し、取組を推進した。
- ・学校改善マネージャーは、管理職との協議をとおして、学校課題の改善に向けた戦略を立て、実行することで、組織を機能させる経験を積むことができた。これは、ミドルリーダーの意図的、計画的な育成につながった。



【マネージャー制度による校務分掌】

### 実践の充実にに向けた取組の工夫

#### 〔校長の取組〕

- ・学校課題の解決に向け、管理職や主幹教諭、担当マネージャー等で構成する「推進チーム会議」を開催し、担当マネージャーが学校課題の解決に向け、新しく取り組んでみたい「アイデア」を提案し、効果や課題等について話し合い、実現に向けた調整を行った。

#### 〔学校改善マネージャーの取組〕

- ・課題解決の戦略として、各業務に係る「課題」「到達目標」「目標指数」「具体的取組」等を「業務マネジメントシート」にまとめ、年間の「ロードマップ」に基づき、マネジメントを行った。

### 成果（ ）と今後の課題（ ）

課題解決に必要な業務を校務分掌から抽出し整理したことで、課題解決に向けたカリキュラム・マネジメントを推進するとともに、学校改善マネージャーの任命により、組織を動かす経験を獲得することができ、キャリアステージに応じた人材育成の取組を推進することができた。

〔学校評価（教職員）の「学校経営」の項目「学習・生徒指導、学年・学級、校務推進グループ・学校改善推進チームで連携・協働し学校運営が行われている」について、肯定的な評価が高かった。（R5：92.9%）〕

今後、学校課題の解決に向けた全教職員の共通理解を一層図るとともに、教職員の主体的な取組や実践を推進することができるよう、教職員の実践力を高める研修の充実に図る必要がある。